

議会ウォッチ

51号
2018年1月



ココに注目!

東峰学園9年生が議会を体験《東峰見聞録》 P2

予算ピックアップ《トピックス》 P4

ここが聞きたい! 《一般質問》 P8



平成29年11月9日東峰学園9年生が議場で議会体験を実施しました。15名の生徒が村政について日頃思っていることを議場にて鋭い質問が行われました。

質問と回答(抜粋)は次の通りです。

私たちの村は

これからどうなるの？

Q 東峰村を発展させるために、私たちにどんなことを期待しますか。

A 今のところ、計画はありません。新規のコンビニ開業については、地域商店への配慮とともに、継続して経営しているかが課題です。

A 勉強やスポーツ等に参加し、たくさんのことを学習するとともに、その後、東峰村に残って、若い力を村政に発揮していただきたい。

Q 東峰村にコンビニを作る計画はありますか。

Q 少子高齢化対策はどんなことをしていますか。

A 皆さんの勉強しやすい環境を作るためにも、地方交付税にかかわらず議会や教育機関等とも協議、検討していきたいと思っています。

A 高齢者の方に元気で長生きしていただくため、健康指導等に取り組んでいます。また、少子化対策としては次世代の人たちが子育てしやすい環境づくりを進めています。

Q 豪雨災害で被害を受けた東峰村を今後どのように発展させていきますか。

A 復興計画策定委員会で村の総合計画等に基づき、災害に強い村づくり等について検討されています。

Q 日田彦山線の復旧させる予定はありますか。

A 高膨大な費用が想定されますが、日田市・添田町など近隣市町村と協力して復旧についての要望をしていきたいと思えます。

豪雨災害の

復旧はどうなるの？

あとがき

今回の子ども議会では、生徒の皆さんが村政に対し、様々な疑問や意見を持つていたことがわかりました。議会では、今後対処が必要な案件に対し、議論を行っていきたいと考えております。中学生の皆さんが今後さらに勉強を重ね、村政を担っていただくことを期待しています。

Q この度の水害の支援金はどのように使おうと考えていますか。



12月定例会トピックス

第8回定例会(12月)議決結果一覧表

賛成：○ 反対：● 欠：-

区分	審議結果	議案一覧	長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛視	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
29補正予算	可決	平成29年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第7号)について(詳しくは4ページ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成29年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成29年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定	認定	平成28年度東峰村一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	平成28年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	平成28年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	平成28年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	可決	東峰村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村長の給与の減額に関する条例の制定について	●	○	●	●	○	○	○	○	○
	可決	東峰村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	「少人数学級推進などの定数改善」「義務教育国庫負担制度2分の1復元」にかかわる意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	道路整備に必要な予算確保に関する意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第7回臨時会(11月)議決結果一覧表

賛成：○ 反対：● 欠：-

区分	審議結果	議案一覧	長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛視	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
条例	可決	平成29年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第6号)について	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	可決	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成29年度12月定例会は12月11日から18日までの会期で開催しました。29年度会計補正予算3件、条例改正4件、決算認定4件、請願1件、発議1件を

慎重審議し、原案どおり可決しました。また、一般質問に関しては7人の議員が一般質問を行いました。



小石原駐在所跡地



インターロッキング舗装

小石原駐在所跡地に道の駅の第二販売所(プレハブ)の設置を予定しており、周辺をインターロッキング舗装に整備を行う予定。また、小石原道の駅には大型車を停める場所が少ないため、役場下の駐車場を大型車専用の駐車場として整備を行う予定。

道の駅第二販売所設置
3,150万円

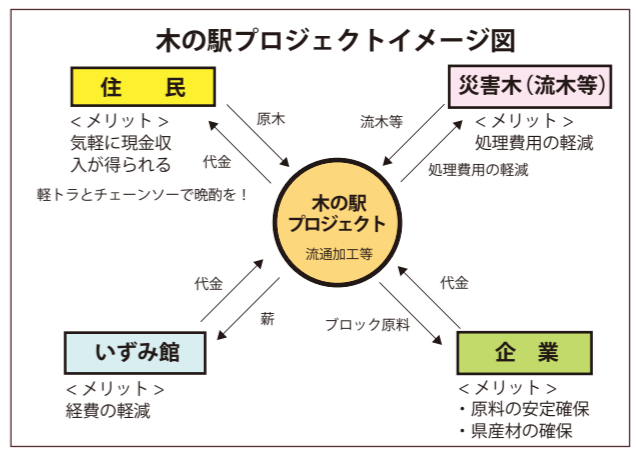
ちよつと待った!
現在、設置計画や原材料の確保並びに販売等の調査が不十分なため、両事業については継続して協議することとした。また、議会の了承がなければ実施に移すことは出来ないことを確認している。

目的
森林資源を活用することなど

活用方法
①いずみ館等の公
共施設での薪ポ
イラー導入によ
る消費
②村内の木質プロ
ック製造企業へ
のチップ売却

集積方法
新規の木材集積
場整備(木の駅
事業による安定
供給体制の確立

木質バイオマス導入計画
324万円



決算審査特別委員会

決算審査特別委員会(12月12日)にて、平成28年度決算(一般会計、特別会計)の審査を行いました。例年、決算審査は9月定例会中に行いますが、昨年7月の豪雨災害の影響で12月定例会にて行うこととなりました。審査では、12月5日に行われた各課からの決算及び施策の成果についての説明をもとに、質疑・討論・採決を行いました。

子ども・子育て会議

議員 28年度は子ども・子育て会議は開催されたか。
担当課 子どもの支援にかかる案件がなく、28年度は開催されていない。

観光プロモーション事業

議員 観光プロモーション事業の目的は何か。
担当課 地域づくり団体等が実施する新規の観光促進につながる事業の費用を助成すること。28年度、29年度続けて同様の団体から申請されているが、新たな取り組み等を入れていただくようお願いしている。

議員 担当課としては助成のあり方や継続性についてどのよう団体をフォローしていくのか。
担当課 1つは販売を目的とした事業、または純粋に観光客の取り込みを目的とした事業がある。少し整理しながら村の助成率等を考えていくなどの必要がある。



高齢者ゴミ出し支援事業

議員 高齢者ゴミ出し支援事業の1年間の実績は。
担当課 地域の方から、1人暮らしでゴミを出していない方がいるという問い合わせは数件あったが、実績は0件だった。

住宅

村営住宅の修繕計画

議員 村営住宅の修繕計画は。
担当課 経年劣化で水回り等が非常に傷んできている。トイレや壁、ボイラー等の改修を進めている。また、入退去に合わせ改修を行うことを考えている。

スキルアップ支援補助事業

議員 スキルアップ支援補助事業は災害復旧のための重機の安全講習等で使えるのか。また、実績は。
担当課 28年度は草刈機取り扱い作業安全衛生講習の受講者10名に補助を行った。また、29年度には小型建設機械講習の受講者1名に補助を行っている。

空き家バンク事業

議員 空き家バンク事業の詳細は。
担当課 賃貸1件に6名、購入1件に5名、合わせて11名の方が移住して来られた。



健康

ウォーキングマイレージ事業

議員 ウォーキングマイレージ事業で歩きすぎて体調を崩された方がいる。ランキングをつける必要があるのか。
担当課 競い合っても歩いて健康になってもらうためにランキングをつけている。大体1日8000歩が健康的な歩数というところで説明している。



地域おこし協力隊

議員 地域おこし協力隊が今回も2名辞められる。早期に辞める方が多い理由は何か。
担当課 今度辞められる方は災害等色々な理由があり辞められた。以前に辞められた方は早く独立したいことなど、それぞれ隊員によって異なる。

村づくり事業

議員 地域協働の村づくり事業について、同年度に同一地域では1度しか申請できないのか
担当課 協働の村づくり事業として自主防災組織の育成・啓発に係る事業と、地域コミュニティ活性化事業の2つを採択しているケースがある。詳しくは総務課までご相談ください。



決算審査意見書より抜粋
村税等の自主財源確保に努め「総合計画」や「過疎計画」の長期展望の村づくりを推進するとともに、成果・効果を検証し、次世代に受け継いでいける行財政運営の効率化に取り組んでいただきたい。産業の振興や人口減少対策、子育て支援、高齢者福祉の向上と、更なる村勢の発展に寄与されるよう一層のご尽力を望むものです。

ここが聞きたい!

一般質問

1. 梶原 文明 議員 — JRR日田彦山線の復旧の見通しは
2. 梶原 光春 議員 — 商工業者への義援金の配慮ができないか
3. 伊藤 均 議員 — 村民税条例の減免事項改正は適当か
4. 黒川 隆康 議員 — 改良復旧は本当に出来るのか
5. 長澤 貞義 議員 — 災害復旧によって財政はどうなるか
6. 高倉 寛規 議員 — 農地河川の復旧工事の進捗は
7. 高橋 弘展 議員 — 病気の子どもの保育や預かりへの対応は



梶原 文明 議員

JRR日田彦山線の復旧の見通しは

— 村長 JRから復旧についての説明はまだない

議員 JR九州は、7月の北部豪雨で復旧費用の負担について、「会社単独では難しい、輸送手段の切り替え等を議論する」との事だが、10月6日の報道までに村への説明はあったのか。

が、代替案などについて説明はあったのか。

村長 説明等はJR九州からはない。

村長 本村にとって重要な路線であり、一日も早い復旧を求めていく。

議員 報道によると、復旧費が70億円に上り、年内にも地元自治体と路線維持のあり方や、費用負担の協議を始めるとの事だが、協議はあったのか。

議員 日田彦山線の復旧は、眼鏡橋のライトアップ、JRウオーキング等、宝珠山地区の観光に多大な影響がある。今後の対応は。

村長 協議は行われていない。10月25日にJR九州が来庁し、被害額と被害個所の説明を受けた。

村長 早期復旧に全力を挙げて取り組んでいく。

議員 日田彦山線は、生活・通学に欠かせない交通手段と思う



めがね橋 (奈良尾)



梶原 光春 議員

商工業者への義援金の配慮ができないか

— 村長 調査し、後日お知らせする

議員 農業者への補助は手厚いが、商工業者に対し補助がない。義援金の配慮をできないか。

議員 農地や河川の改良復旧は可能か。

村長 朝倉市の動向等もあるので調査し、後日お知らせする。

村長 可能である。河川改修等については県土事務所と協議を行っている。必要に応じて協議を行っていききたい。

議員 激甚災害指定の場合の補助率は何%か。

議員 竹地区の旧簡易給水施設の土砂撤去・復旧はいつ頃の予定か。

村長 激甚指定を受けると公共災は99・2%、林道災と農地災は99・3%、農業用施設災は97・6%となるが、あくまで見込み額である。

建設水道課長 ダムの土砂と流木の撤去を一部、今年度中に行うので、県土事務所と話しながらい緒に行っていきたい。

議員 国の査定決定前の事業前払い制度は使えないのか。

議員 国の査定決定前の事業前払い制度は使えないのか。

村長 応急工事としてはある。要件が厳しいので応急仮設工事に対応している。



被災地 (屋椎)



伊藤 均 議員

村民税条例の減免事項改正は適当か

— 村長 条文改正をする方向で次回提案する

議員 東峰村税条例の下には規則とか規定があるのか。

町村と歩調を合わせた。

住民税務課長 税条例については、規則等は特段ないので、要綱等で対応している。しかし、固定資産税に限り、一部規則がある。

議員 村民税条例の災害に対する減免事項であれば、「特別の事情がある者」ではなく、「天災地変等を受けたもの」とすべきではないか。

議員 29年9月定例会で東峰村税条例の一部を改正する条例制定において、村民税の減免事項の第5号に「特別の事情がある者」を追加した。これは7月の災害に対する村民税の減免を指すのか。

村長 税については、透明性並びに明確化が必要であるので、条文を改正する方向で次回提案をさせていただきます。

住民税務課長 今回の災害に対する減免措置のみです。

議員 村民税の減免事項での表現としては抽象的ではないか。

村長 条文については、いろいろ議論したが、日田市以外の近隣市



例規集



改良復旧は本当に出来るのか ——村長 結論から言っと出来る

議員 現在の復旧状況は。
村長 一応、応急復旧は完了。今後については様々な意見があると思うので、県には説明会を要望している。また、村の工事においても説明等を行い、情報の共有を図っていききたい。

村長 村管理については十分把握出来ていない。県管理の河川については、
①宝珠山川の石積
②宝珠山川と大肥川の合流地点の改良
③下郷橋の架け替え
④宝珠山川の鉄橋の架け替え
⑤その他2箇所橋の撤去
⑥宝珠山駅前河川
を協議中。その他については県と協議を行い、災害防止に努めたい。



被災地(大行司駅)

議員 改良復旧工事が出来る事の事だが、確定している所はどこか。

村長 結論から言っと出来る。ただそこには予算が伴うが、国交省や農水省そして県と今後詰めていきたい。また、地権者との協議も必要である。



農地河川の復旧工事の進捗は ——村長 29年度中には1割から2割発注したい

議員 災害によって多くの水田が被害を受けている。農地の査定は30年1月中旬頃に終わるようだが、どのような順序で工事を進めるのか。

農林観光課長 29年度に作付できていた所を優先して、29年度に1割から2割程度、30年度には5割程度を発注したい。中山間地域直接支払制度の代表者等と要望等を確認していききたい。

学校教育について

議員 ここ数年の東峰学園における不登校の生徒・児童に対して、教育委員会の対応はどのようになっているのか。

教育長 教育委員会は、子どもが学園に来れるように色んな協議をし、地域の方々や村全体で子どもを育てていく学校づくりを推進していきたい。



病気の子どもの保育や預かりへの対応は ——村長 他市町村と連携等ができれば検討したい

議員 本村では病気の子どもたちの保育や預かり「病(後)児保育」を検討しているか。

保健福祉課長 専用スペースや看護師等の確保が困難なため、実施は考えていない。

議員 朝倉市、日田市、嘉麻市、うきは市では病児保育施設を整備している。他市町村との連携は検討できないか。

村長 他市町村と連携等ができれば検討したい。

用水路の復旧について

議員 仮設の頭首工を作った部分への村からの支援はあるのか。

農林観光課長 今年度、応急工事については水利組合等で施工すればその費用は全額村で負担した。来年度も応急工事への補助や自力復旧に関する補助、ポンプ購入補助を継続したい。

議員 来年度ポンプを据える水利組合に対して、燃料代や電気代を村から補助できないのか。
農林観光課長 費用負担は水利組合でお願いしたい。

村長 中山間地域直接支払制度の代表者等と協議を重ねて検討していききたい。



災害復旧によって財政はどうなるか ——村長 村の負担が増えてもやっていく

議員 災害により村の負担が大きなものになっていくが、財政はどうなるか。

村長 村債に頼らない形で事業実施を考えていく。また、村の負担は覚悟しなければならぬと考えている。

議員 村が負担する災害復興事業費について、過疎対策事業債等の地方債の起債があるが、どの財源を選択して使うのか。

村長 過疎債が有利なので出来る限り過疎債を使いたい。また、村債に頼らないで基金の組替え等を、議会の承認を得て財源を確保し、災害復興にあたりたい。

議員 過疎債はどんな使い方が村に一番いいのか。

村長 今回の災害で村管理の河



過疎地域自立促進計画 表紙

川や谷川が大きな被害が出てるので、これを過疎債で改修・改良出来るよう県と協議し、過疎計画に載せて取り組みたい。

過疎対策事業債とは
過疎地域の市町村が、過疎計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められる地方債。元利償還金の内、7割が国から交付税措置される。

国への要望活動



中小企業庁長官へ提出

11月21日に平成29年7月九州北部豪雨に伴う災害対策について、経済産業省・環境省・財務省・内閣府へ朝倉市議会・筑前町議会と合同で要望活動を行いました。

以下を含め、7項目を東峰村の要望として各省庁に提出しました。

○道路河川等の公共土木施設、農地、農業用施設及び林道の復旧に必要な事業予算の確保と迅速な復旧の実現

○J R日田彦山線の早期復旧の為のJ R九州に対する支援及び自治体負担に対する財政措置

○伝統的工芸品産業の早期復旧及び観光業に対する支援



内閣府防災担当大臣室にて

議事録はホームページでチェック!

定例会・臨時会の議事録はホームページで確認いただけます。

- ・パソコンの場合は
東峰村ホームページ【<http://vill.toho-info.com/>】へアクセスし、「村議会」ページを開き、右メニューの「議事録・採決一覧」からご覧ください。
- ・スマートフォンの場合は
右のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



編集後記

皆様におかれましては健康やかに新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年起きました未曾有の災害から6ヶ月が過ぎ、本年は村の復旧・復興に向け様々な事業が行われる予定です。議会としても、住民の皆さまの意見を反映させながら、復旧復興に取り組んでまいりたいと思います。

さて、広報委員会としては、親しまれる議会広報づくりに一層チカラを入れてまいりますので、よろしくお願いいたします。

皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

議長	大蔵 久徳	副委員長	伊藤 均	委員	長澤 貞義	高橋 弘展	黒川 隆康
発行責任者	柳瀬 弘光	副委員長	伊藤 均	委員	長澤 貞義	高橋 弘展	黒川 隆康